

新学習指導要領の完全実施に伴う教育課程(教育計画)の見直しについて

大宜味村立大宜味中学校

【新学習指導要領が令和3年4月から完全実施】

→ それに伴い、学校は「教育課程(教育計画)」を見直す

○ <u>予測が困難な時代</u> → グローバル化やテクノロジーの発達に伴う激動の時代
○ <u>子どもたちが成人し生きていく社会</u> → 自然災害や人間関係のトラブルなど 予測の難しい問題は起きる。
☆その解決には知識を持っているだけでなく → 状況に合わせて知識を生かす力が問われる。「生きる力」。
☆学校教育に求められること → 予測困難な時代を生き抜くための「資質・能力」を育てる。
☆家庭・地域社会に求められていること 本来、子どもは「なぜ？」と人生へのたくさんの問いを持っている。問いに向き合い、自ら考え答えを導き出す。その繰り返しの中で考えが深まり、自分なりの生き方が見えてくる。子どもたちが自ら考えを深められる環境を与えることは、大人の大切な役割。

【新学習指導要領の主な事項】

- (1) 「何ができるようになるのか」 → 育成を目指す3つの資質・能力
- 「知識・技能」 → 生きて働く
 - 「思考力・判断力・表現力等」 → 未知の状況にも対応できる
 - 「学びに向かう力・人間性」 → 学びを人生や社会に生かそう

この3つをわかりやすく言えば、
「子どもたち自ら課題を見つけ、自ら学び考え実行する力」です。
これらは、予測困難な社会や人生を切り開くための「生きる力」とも言える。

- (2) 「何を学ぶか」 → 教科等を学ぶ意義
- 「見方・考え方」が中核となった「深い学び」
- (3) 「どのように学ぶのか」 → 学習の質を高める授業改善

その実社会で通用する「生きる力」を育むために、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、子どもたちの考える環境をいっそう整える方針だ。具体的には、教員の話聞く学習だけでなく、生徒同士が意見を交換しながら課題の解決を考える授業形態も増えてくると予想されます。

○「主体的・対話的で深い学び」とは

問いに対し、まずは間違っても構わないので、クラスメートと対話しながら解決策や解答を見つけ出す。そうした中で、思考力や判断力が形成され、人に伝えるための表現力も身につきます。この「どのように学べば問題解決につながるのか」との「学び方を学ぶ」ことが、将来にわたっての「生きる力」にもなるのです。

(4) 「子ども1人1人の発達をどのように支援するか」

→ 子どもの発達を踏まえた指導の充実

- 学級経営の充実（教師と生徒との信頼関係、生徒相互のより良い人間関係）
- 生徒指導の充実（有意義で充実した学校生活、現在及び将来における自己実現）
- キャリア教育の充実
（学ぶことと自己の将来のつながりを見通し、生き方を考え主体的に進路を選択）
- 生徒個々に配慮した指導の充実（個々の発達に応じた支援の充実）

(5) 「何が身についたか」 → 学習評価の充実

- 単元や題材など、内容のまとまりを見通した、学習の過程や成果を評価する
- 自らの学習を粘り強く調整しながら学ぼうとしているかを評価する

○文部科学省がしめす、これまでの課題

- 生徒の学習改善につながっていない ●教師の指導（授業）改善につながっていない
→ 内容のまとまりごとの学習の評価や振り返りが不十分

☆これからの評価（観点別評価）

〈昨年までの評価〉

〈今年度からの評価〉

関心・意欲・態度
思考・判断・表現
技能
知識・理解



知識・技能 → 何を理解しているか・何ができるか

思考・判断・表現

→ 理解していること・できることをどう使うか

主体的に学習に取り組む態度

→ どのように社会・世界と関わり、よりよい社会を生きるか

☆具体的な評価 → 通知表で表されます。（変更なし）

〈観点別学習状況〉

〈評定〉

- | | | | |
|------------|---|----------------------|---|
| ○十分満足できる | A | ○十分満足できるもののうち特に程度が高い | 5 |
| ○おおむね満足できる | B | ○十分満足できる | 4 |
| ○努力を要する | C | ○おおむね満足できる | 3 |
| | | ○努力を要する | 2 |
| | | ○一層努力を要する | 1 |

(6) 「実施するために何が必要か」 → 指導要領の理念を実現するための方策

- 学校の全教育活動の充実（カリキュラムマネジメント（評価・改善））
→ 学校教育を検証し、教育活動の質の向上を目指した取り組み
- 地域社会や家庭との連携の充実（「社会に開かれた教育課程」）
→ よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る
- GIGA スクール構想 → 生徒1人につき1台のパソコンの整備
（文房具と同じように、パソコンを使用した授業や学習を進めます）
- 「特別の教科 道徳」 → 道徳の時間の充実